

野球同好会活動報告

～ 2024年パテント杯及び随時メンバー募集～

野球同好会
長谷川 博道



初戦の写真

<随時野球メンバー募集中>

(1) 弁ク野球チームは随時メンバー募集中です。レクリエーション目的重視で老若男女問わず、巧い下手問わずどなたでもご参加頂けます。所員の非弁の友人でも問題ないです。例年のパテント杯や練習会等の楽しい機会を共有できるはずですし、野球を通じて新たな出会いがあり、懇親を深めることができるはずです。

最もやる気があると思われる僕でさえ老人なので、老人がいくら頑張ったってたかが知れておりますので、それよりもレクリエーション目的重視で人が多い方が断然、組織として向上することが希望できます。

運動不足とお嘆きの皆さま、そしてもっと知り合いができたらいいなあと思われている皆さまは、長谷川博道（メール：hirohasegaw@gmail.com）、澤田孝之先生、潮太朗先生、権正英樹先生又は弁ク事務局まで、ぜひご連絡お願い致します。

(2) 僕にとって最も不得意だった論文試験がある地獄のような受験時代を経て弁理士になって非常に良かったことの1つに、パテント杯を中心としたこの野球があります。

10年くらいの上記受験時代の特に後半の6年間くらいはほとんど運動せず、血行も悪くなり、体重も10kgくらい太りましたし、中性脂肪により血管が極度のダメージを受けてきたはずですので、上記受験生活により寿命が3年くらい縮まったと予想しています。

野球の個人練習をじっくり継続することで体重は受験時代のマックス体重と比べてよう

やく 5 kg 以上減りましたし、血行不良で凝りが生じることは皆無です。

僕の身体は、適度な運動をしないとダメな身体であると昔から判ってました。

若い頃から、どんなに運動しなくても良い人でも、運動しないと血行が悪くなり、肩凝り等が起こるはずと近頃考えてます。

< 2024年パテント杯 >

4戦して2勝2負でした。勝ち負けよりも試合数多くを希望しているスタンスです。

(初戦)

初戦の相手は特許庁系（調整課・審判課）チームでした。

勝つ気で試合に入りました。力量は比較的拮抗してましたが、試合が進行するほどに力量差が点差に反映してきて負けました。

負けた原因の大きな所は僕にあるのですが、詳細は、ここでは伏せます。

とにかく、次に戦うときには、勝てるように、継続的に練習するだけです。

なお、特許庁系（調整課・審判課）チームは特許庁系チームの中でも、実力は下の方です。

(敗者復活戦)

敗者復活戦の相手は昨年と同様にダンディーズでした。

流れがダンディーズに傾きそうな場面が数回ありましたが、その都度、こちらのファインプレーが飛び出し、また、ダンディーズバッテリーの弱点は昨年の対戦でよく知っていますので、傾向と対策を周知徹底した結果、普通に勝ちました。

助っ人の力もあったので、ダンディーズには助っ人の力無しで必ず勝てるようにしたいです。

(2回戦)

2回戦の相手は身内の Taiyo でした。

Taiyo バッテリーは、配球にボールゾーンも多用してくる癖のあるバッテリーでした（3球に1球だけストライクという感じ）。

打撃技術によりボール球でもヒットを目指している僕（極論すると大根切りでもヒット）はまんまと Taiyo バッテリーの術中にはまりました。

今後 Taiyo と対戦するときには、配球にボールゾーンも多用してくる旨の傾向と対策を徹底していつも勝てるようにしたいです。

また、Taiyo バッテリーに対しての盗塁は適度な緊張感がありますので、今後は余裕をもって行えるようになりたいです。

(3回戦)

3回戦の相手は、昔から知っていて、攻守ともに強い（打線に切れ目なし）強豪ミズアオイ（青山事務所）でした。

雨天延期も重なったこともあり、メンバーがほとんど集まらず、致し方なく、野良の助

っ人で大半を固めて臨みました。

試合開始前から、野良助っ人らの僕の人間性に対する不満がくすぶっており、試合途中でチームコントロールを失い、負けました。今後は、このような轍を踏まないように肝に銘じる黒歴史のような試合になりました。

また、今後は、ミズアオイバッテリーから盗塁を奪えるような高度な盗塁技術を習得したいと考えてます。

(まとめ)

パテント杯は年間数試合しかないことが玉に瑕ですが、特許庁、会派、事務所等参加の特許業界の一大イベントであり、少しスペクタクルを感じますし、後世に残したい文化遺産とも少しだけ思います。

固定的なメンバーが10人に達したら(いつになることやら)、パテント杯のみならず、星の数ほど存在する都内草野球チームと練習試合を組むことができたらと思っています。

(以上)